「論理・表現Ⅰ」指導と評価の年間計画

福井県立　勝山　高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準			単元で取り上げる言語活動の領域					評価方法（統合的な評価を含む）
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	L	R	Sや	S発	W	
4・5月	6	Lesson 1 Introduce yourself to your class	クラスメイトに自己紹介と、インタヴューを行う。	ディスカッション活動、ディベート活動を通して、日常的な話題・社会的な話題について、一定の支援を得ながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して表現できる。	○言語材料のうち「使える場面」について問いを立てながら考え、練習することができる。 ○ディスカッション・ディベート活動に必要な表現、具体的な進行方法を理解できる。 ○音読活動（感情をいれた）、リスニングディクテーション活動ができる。	○レッスン内容にある“bicycle rider license”についてグループディスカッションを行うことができる。 ○ディスカッション活動の後に、bicycle accidents についてのエッセイを、前もたに調べたデータを入れ、適切な理由根拠とともに書くことができる。 ○プロジェクト：「Studying Abroad」についてミニディベート活動のあと、論理的エッセイ作成を行うことができる。	○ディスカッション活動で、自分と異なる意見を受け入れ、その意見を考慮した上で発言する態度を示すことができる。 ○ディベートにおいて、相手の意見に耳を傾け、それに対して自らの考えを伝えようとする態度を示すことができる。	○	○	○	○	○	知識・技能 各要素5点(30点/2=15点）＋考査点25点とあわせて40点満点。 思考力・判断力・表現力等 各要素5点 ＋エッセイ3つを各5点で評価(15点)。合計40点を20点満点に換算して算出。 主体的に学習に取り組む態度 自己評価、他者評価と教員評価で行う。
4・5月	6	文の種類 文の成り立ち(1)(2) 時制(1)(2)	英文の基本構造 時制	○総合英語Ⅰ/英語コミュニケーションⅠの教科書に出てくる英文を、3人グループになって分類し、例を示しながら中学生に向けた説明を行うことができる。 ○グループで行った説明をレポートにして、教員に報告することができる。	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めることができる。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりできる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	○	○	○	○	○	単元テスト、中間考査において、観点別の問題を作成し評価する。
1学期中間考査													
5・6月	5	Lesson 7 Do you do any volunteer activities?	ボランティア活動について	ディベート活動・プレゼンテーション活動を通して、日常的な話題・社会的な話題について、一定の支援を得ながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して表現できる。	○言語材料のうち「使える場面」について問いを立てながら考え、練習する活動 ○ディベート活動に必要な表現、具体的な進行方法を理解できるような活動 ○音読活動（感情をいれた）、リスニングディクテーション活動	○レッスンの主題である“volunteer activity”について将来の職業観と結びつけたプレゼンテーション、 ○P50にある“All high schools should have a volunteer day once a week.”についてミニディベート活動。	○プレゼンテーション活動で、相手に伝わることを意識して発表する態度 ○ディベートにおいて、相手の意見に耳を傾け、それに対して自らの考えを伝えようとする態度	○	○	○	○	○	知識・技能 各要素5点(30点/2=15点）＋考査点25点とあわせて40点満点。 思考力・判断力・表現力等 各要素5点 ＋エッセイ3つを各5点で評価(15点)。合計40点を20点満点に換算して算出。 主体的に学習に取り組む態度 自己評価、他者評価と教員評価で行う。
5・6月	6	時制(3)(4) 助動詞(1)(2)(3) 受動態(1)(2)	時制について書き手の気持ちを表す表現 伝えたい内容に合った表現	○総合英語Ⅰ/英語コミュニケーションⅠの教科書に出てくる英文を、3人グループになって分類し、例を示しながら中学生に向けた説明を行うことができる。 ○グループで行った説明をレポートにして、教員に報告することができる。	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めることができる。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりできる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	○	○	○	○	○	単元テスト、中間考査において、観点別の問題を作成し評価する。
1学期末考査													
9・10月	6	Lesson 3 Where did you go on vacation?	休暇を利用して訪れた場所について。	プレゼンテーション活動、ディベート活動を通して、日常的な話題について、一定の支援を得ながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して表現できる。	○言語材料のうち○言語材料のうち「使える場面」について問いを立てながら考え、練習することができる。 ○ディベート活動に必要な表現、具体的な進行方法を理解できる。 ○音読活動（感情をいれた）、リスニングディクテーション活動ができる。	○レッスンの主題である“recent trip”についてshow and tell のプレゼンテーションを行うことができる。 ○P26にある“Which is the more useful transportation, bus or train?”についてミニディベート活動ができる。	○プレゼンテーション活動で、相手に伝わることを意識して発表する態度を示すことができる。 ○ディベートにおいて、相手の意見に耳を傾け、それに対して自らの考えを伝えようとする態度を示すことができる。	○	○	○	○	○	知識・技能 各要素5点(30点/2=15点）＋考査点25点とあわせて40点満点。 思考力・判断力・表現力等 各要素5点 ＋エッセイ3つを各5点で評価(15点)。合計40点を20点満点に換算して算出。 主体的に学習に取り組む態度 自己評価、他者評価と教員評価で行う。
9・10月	6	不定詞 (1)(2)(3)(4) 動名詞(1)	動作を名詞化する表現 文に説明を加える表現	○総合英語Ⅰ/英語コミュニケーションⅠの教科書に出てくる英文を、3人グループになって分類し、例を示しながら中学生に向けた説明を行うことができる。 ○グループで行った説明をレポートにして、教員に報告することができる。	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めることができる。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりできる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	○	○	○	○	○	単元テスト、中間考査において、観点別の問題を作成し評価する。
2学期中間考査													
10・11月	6	Lesson 9 Are you eco-friendly?	生態系を守るための環境問題について	プレゼンテーション活動、ディスカッション活動、ディベート活動を通して、日常的な話題・社会的な話題について、一定の支援を得ながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して表現できる。	○言語材料のうち「使える場面」について問いを立てながら考え、練習することができる。 ○ディスカッションに必要な表現、具体的な進行方法を理解できる。 ○音読活動（感情をいれた）、リスニングディクテーション活動を行うことができる。	○レッスン内容にある“Recycling paper is important to save forests.”について質問を考え、グループディスカッションを行うことができる。 ○レッスンの主題である“eco-friendly”について自ら考えるスローガンと結びつけたプレゼンテーション(p81を参考に)を行うことができる。 ○P92にある plastic bags について、“Companies should not produce plastic bags any more.”というトピックでのミニディベート活動ができる。	○ディスカッション活動で、自分と異なる意見を受け入れ、その意見を考慮した上で発言する態度を示すことができる。 ○ディベートにおいて、相手の意見に耳を傾け、それに対して自らの考えを伝えようとする態度を示すことができる。	○	○	○	○	○	知識・技能 各要素5点(30点/2=15点）＋考査点25点とあわせて40点満点。 思考力・判断力・表現力等 各要素5点 ＋エッセイ3つを各5点で評価(15点)。合計40点を20点満点に換算して算出。 主体的に学習に取り組む態度 自己評価、他者評価と教員評価で行う。
10・11月	6	動名詞(2) 分詞(1)(2) 関係詞(1)(2)(3)	文に説明を加える表現	○総合英語Ⅰ/英語コミュニケーションⅠの教科書に出てくる英文を、3人グループになって分類し、例を示しながら中学生に向けた説明を行うことができる。 ○グループで行った説明をレポートにして、教員に報告することができる。	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めることができる。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりできる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	○	○	○	○	○	単元テスト、中間考査において、観点別の問題を作成し評価する。
2学期期末考査													
1月	5	Lesson 6 Something really Japanese	日本の文化についてその独自性について紹介する。	ディスカッション活動、プレゼンテーション活動を通して、日常的な話題・社会的な話題について、一定の支援を得ながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して表現できる。	○色々な場面や相手に応じた異なるタイプの招待文を理解し、「異なる場面でも使える表現」として、場面を考えて練習することができる。 ○ディスカッション活動に必要な表現、具体的な進行方法を理解できる。 ○音読活動（感情をいれた）、リスニングディクテーション活動ができる。	○レッスンの主題である“something really Japanese”についてのディスカッション活動ができる。 ○ディスカッション活動をうけての同テーマについてのエッセイライティングをすることができる。 ○P43をモデルにinvitation e-mail を作成し、それを紹介するプレゼンテーション活動ができる。	○ディスカッション活動で、自分と異なる意見を受け入れ、その意見を考慮した上で発言する態度を示すことができる。 ○プレゼンテーション活動で、相手に伝わることを意識して発表する態度を示すことができる。	○	○	○	○	○	知識・技能 各要素5点(30点/2=15点）＋考査点25点とあわせて40点満点。 思考力・判断力・表現力等 各要素5点 ＋エッセイ3つを各5点で評価(15点)。合計40点を20点満点に換算して算出。 主体的に学習に取り組む態度 自己評価、他者評価と教員評価で行う。
2月	6	Lesson 14 Various countries around the world	世界の様々な国について	ディベート活動活動を通して、社会的な話題について、一定の支援を得ながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して表現できる。	○言語材料のうち「使える場面」について問いを立てながら考え、練習することができる。 ○アカデミックディベート活動に必要な表現、具体的な進行方法を理解できる。 ○音読活動（感情をいれた）、リスニングディクテーション活動ができる。	○P92の“Japanese high schools should organize school trips to foreign countries.”について、アカデミックディベートのスタイルでのグループディベート活動を行うことができる。 ○ディベートで主張したグループの意見を、persuasive writing としてエッセイにすることができる。	○ディベート活動で、仲間と協力してディベートを作成する態度を示すことができる。 ○ディベートにおいて、相手の意見に耳を傾け、それに対して自らの考えを伝えようとする態度を示すことができる。	○	○	○	○	○	知識・技能 各要素5点(30点/2=15点）＋考査点25点とあわせて40点満点。 思考力・判断力・表現力等 各要素5点 ＋エッセイ3つを各5点で評価(15点)。合計40点を20点満点に換算して算出。 主体的に学習に取り組む態度 自己評価、他者評価と教員評価で行う。
1・2月	12	比較(1)(2) 仮定法(1)(2) 否定表現 句と節 強調表現、倒置	様々な比較の表現について 特殊な英語表現について 英語の基本的な構造について	○総合英語Ⅰ/英語コミュニケーションⅠの教科書に出てくる英文を、3人グループになって分類し、例を示しながら中学生に向けた説明を行うことができる。 ○グループで行った説明をレポートにして、教員に報告することができる。	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めることができる。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりできる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	○	○	○	○	○	単元テスト、中間考査において、観点別の問題を作成し評価する。
学年末考査													
総時数	70												